放出放射能の算定値について

添付資料（表２．２～２．５）はウィーン専門家会議に提示され討議された放出放射能の値である。この炉内放射能を単純に加算すると表２．２では約９億Ciとなるが、これは、放射性半減期の短いモリブデン－９９やジルコニウム９５等を加算しているためで、公衆被ばくの観点からは、これら核種の寄与はほとんどなくなるため、これらを省いて再度加算すると３億９千万Ci程度となる。また、長期的な内部被ばく評価のためには、希ガスを除く固体放射性物質のフォールアウトが問題となるが、これらは表２．５に示すように、第３段階までの総量が約５千万Ciとなる。このように、Ci数そのものは計算すべき対象によって値の取り方が変わるため、値が違うからと言って片方が正しく他方が間違いということなはならない。